

プリンタードライバー CASIO KL46H

Windows 対応 取扱説明書

プリンタードライバーとは、パソコン画面に表示された文字や画像をプリンターに伝えるなど、プリンターを制御するためのソフトウェアのことです。

このプリンタードライバーは、KL-E550 で、市販のアプリケーションから印刷したいときや、ラベル印刷ソフト (BA-300) を使用するときが必要です。

本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

プリンタードライバーの詳細な
設定をしたいときは



プリンターの削除・プリンター名
の変更をしたいときは



アプリケーションからテープに
印刷したいときは



使用上のご注意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

- Microsoft、Windows、Excel、PowerPoint は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、® マークは明記していません。
- Windows や他のアプリケーションに関する操作や概要につきましては、各々に付属の取扱説明書やヘルプをご覧ください。
- ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本取扱説明書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

© 2017 CASIO COMPUTER CO., LTD.

印刷時のご注意

- 直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化が起こる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 印刷中に AC アダプターや USB ケーブルを取り外さないでください。
- 印刷を始める前に、ネームランドテープカートリッジのテープ残量が十分であることを確認してください。テープがなくなった状態でカットを繰り返すと、故障の原因となります。
- ゴムローラーにテープのカスなどのゴミが付着していたら、必ず取り除いてください。
- カッター部に指を入れたり、手を触れたりしないでください。「けがをする恐れ」があります。また、「本機の故障の原因」になります。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。

- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤作動を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。

はじめに

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

本書に関するご注意

- 本書に記載の事例を利用したことにより生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本プリンタードライバーの仕様ならびに本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

- 本プリンタードライバーのインストール方法・動作環境は、プリンターに付属の「取扱説明書」をご覧ください。
- 本プリンタードライバーは、Windows 10/Windows 8.1/Windows 7 SP1 で動作するプログラムです。
- 機種構成によっては正常に動作しない場合があります。

目次

使用上のご注意
印刷時のご注意

はじめに	1
本書に関するご注意	1
プリンタードライバーを使える機種について	3
この取扱説明書の読み方	3
本書での説明について	3
本書での表記について	4
こんなことができます	5
プリンタードライバーの詳細設定	6
プリンタードライバーの印刷設定を表示する	6
アプリケーションからプロパティを表示する	7
プリンタードライバーの設定項目について	7
プリンターの削除方法	14
プリンター名の変更方法	14

アプリケーションからテープに印刷する	15
Microsoft Word からの印刷	15
■ヘッダー・フッター設定	17
■余白の設定について	18
Microsoft Excel からの印刷	19
■ヘッダー・フッター設定	21
Microsoft PowerPoint からの印刷	21
ペイントからの印刷	23
エラーメッセージ一覧	25

プリンタードライバーを使える機種について

本プリンタードライバーでは、次の機種でテープを印刷することができます（2017年7月現在）。

KL-E550

この取扱説明書の読み方

本書での説明について

■ Windows の操作説明はしていません

本書は KL-E550 用プリンタードライバー（以後本プリンタードライバーと記述いたします）の取扱説明書です。本プリンタードライバーは、Windows 10/Windows 8.1/Windows 7 SP1（以後 Windows と記述します）上で動作するプリンタードライバーであり、本書では、Windows そのものの操作については説明していません。本書は、本プリンタードライバーをご利用になるお客様が、少なくとも以下のような Windows の基本操作に習熟されていることを前提として書かれています。

- クリック、ダブルクリック、右クリック、ドラッグ、ドラッグ・アンド・ドロップなどのマウス操作
- マウスによるメニュー操作
- キーボードによる文字入力
- Windows に共通のウィンドウ操作

これらの Windows の基本的な操作や、各アプリケーションの操作につきましては、お手持ちのパソコンまたはそれぞれの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

■ 本書での名称について

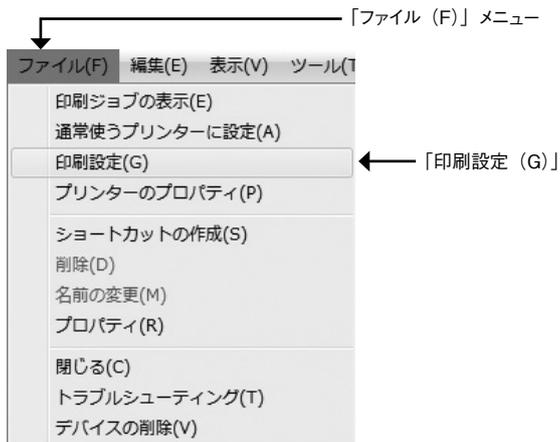
本書では、KL-E550 本体のことを「プリンター」と呼びます。

本書での表記について

■メニュー / ボタン操作の表記について

本書ですべての操作は、マウスを使用することを前提としています。

- メニューあるいはコマンドの操作方法は、次のような形で表記しています。



「ファイル (F)」から「印刷設定 (G)」をクリックします。

- ダイアログボックス中のボタンは次のような形で表記します。



[OK] をクリックします。

■表示画面について

- 本書記載の画面は、Windows 7 SP1 を例に説明しています。その他の OS では、本書記載の画面と異なることがあります。

こんなことができます

- 本プリンタードライバーは、通常お使いになっているアプリケーションで作成したデータをプリンターで印刷するためのプリンタードライバーです。プリンターの状況を表示するプリンターモニターとしてもお使いいただけます。ラベルプリンター専用のアプリケーションを使用しないで、テープに印刷することができます。

■ CZ-005 開発資料

企画書・マーケティング資料
仕様書

- プリンターで使用する専用の用紙サイズを、通常お使いのアプリケーションで編集することができます。



プリンタードライバーの詳細設定

ここでは、プリンタードライバーの詳細設定を説明します。

- 重要** 
- ラベル印刷ソフト (BA-300) を使用するとき、この設定は必要ありません。
 - ラベル印刷ソフト (BA-300) を使用するときは、「用紙方向」の設定を「横 (B)」でご使用ください。

プリンタードライバーの印刷設定を表示する

■ Windows 7 SP1 の場合

Windows の「スタート」メニューから、[デバイスとプリンター] をクリックして、[プリンターと FAX] の欄でインストールした機種をクリックします。次に右クリックして表示されるメニューリストから「印刷設定 (G)」をクリックして印刷設定画面を表示します。



■ Windows 10 の場合

Windows の [スタート] ボタンを右クリックして表示されるメニューから、「コントロールパネル」をクリックします。[デバイスとプリンター] を開き、[プリンター] の欄でインストールした機種をクリックします。次に右クリックして表示されるメニューリストから「印刷設定 (G)」をクリックして印刷設定画面を表示します。

■ Windows 8.1 の場合

デスクトップ画面でチャームバーを表示させ、[設定]、[コントロールパネル]、[デバイスとプリンターの表示] の順にクリックして、インストールした機種をクリックします。次に右クリックして表示されるメニューリストから「印刷設定 (G)」をクリックして印刷設定画面を表示します。

アプリケーションからプロパティを表示する

- アプリケーションからの設定については15ページの「アプリケーションからテープに印刷する」で、いくつかのアプリケーションの例をそれぞれ説明しています。

1 起動中のアプリケーションの「ファイル」から「印刷」をクリックします。

2 「印刷」ダイアログ内の「プリンターの選択」からインストールしたプリンターを選択し、[プリンターのプロパティ] または [詳細設定] をクリックします。

「プロパティ」または「印刷設定」画面が表示されます。



- この他にも [ファイル] - [ページ設定] などでプロパティを表示することができます。

プリンタードライバーの設定項目について

本プリンタードライバーは使用する用途に合わせて、機能を設定することができます。ここでは、[プロパティ] や [印刷設定] で表示される各タブの設定について説明します。タブには、以下の種類があります。

- 基本設定
- テープレイアウト
- モノクロ化
- オプション
- メンテナンス
- バージョン

■基本設定

「テープ選択」、「用紙方向」、「印刷部数」の基本的な設定をします。



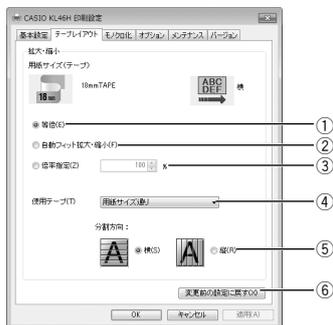
重要  「テープ選択」で用紙を指定するときにはアプリケーション側で指定した用紙サイズと「テープ選択 (T)」で指定する用紙サイズは必ず同じにしてください。異なったサイズを指定した場合は、正しく印刷されないことがあります。

・アプリケーションからの設定については 15 ページの「アプリケーションからテープに印刷する」で、いくつかの例を説明しています。

①	テープ選択(T)	使用できるテープの選択ができます。
②	幅(W)、長さ(Q)	指定されているテープに対して、幅と長さのサイズを変更します。ただし変更内容は保存されませんので、新しいテープサイズを追加するときは、[カスタムテープ] で新しいテープサイズを登録してください。
③	カスタムテープ(F)...	カスタムテープ登録ダイアログを表示します。新しいサイズのテープを作成し、テープ選択リストに追加できます (13 ページ参照)。
④	横(B)、縦(L)	選択したテープの用紙方向を指定できます。ただし、用紙方向を変更しても、実際に印刷される方向は固定されており、印刷範囲内のテキストや画像の方向は変更されません。
⑤	部数(C)	印刷部数を指定します。
⑥	部単位で印刷(E)	1 部ずつ印刷するときチェックを付けます。
⑦	変更前の設定に戻す(X)	設定した内容を変更する前の状態に戻します。

■テーブルレイアウト

アプリケーションで作成したデータを実際のテープに印刷する際の、「拡大・縮小」の設定をします。



① 等倍(E)	[用紙サイズ] を [使用テープ] に対して 100% で印刷します。[用紙サイズ] が [使用テープ] より大きい場合は、分割して印刷します。
② 自動フィット拡大縮小(F)	[用紙サイズ] を [使用テープ] に合わせ自動的に拡大 / 縮小して印刷します。
③ 倍率指定(Z)	[用紙サイズ] を拡大 / 縮小して [使用テープ] に印刷します。1% から 400% の範囲で任意に指定することができます。ただし、拡大 / 縮小をしても、[用紙サイズ] が [使用テープ] より大きいときは、分割して印刷します。

④ 使用テープ(T)	印刷に使用する (プリンターにセットする) テープを指定します。 ● 用紙サイズ通り アプリケーションの用紙指定そのまま印刷します。アプリケーションで指定したサイズのテープがプリンターに装着されていないと、テープエラーになります。 ● 各個別テープサイズ アプリケーションの用紙指定に関わらず、ここで指定したテープに印刷します。ここで指定したテープがプリンターに装着されていないと、アプリケーション側で用紙を設定してもテープエラーになります。
⑤ 分割方向	[用紙サイズ] が [使用テープ] より大きいときは、分割して印刷されます。そのときの分割される方向 (横 (S) / 縦 (R)) を指定します。[横] 指定にすると印刷に用いる用紙方向が縦方向となり、横方向に分割されます。 
⑥ 変更前の設定に戻す(X)	設定した内容を変更する前の状態に戻します。

重要 【使用テープ】を指定するときは



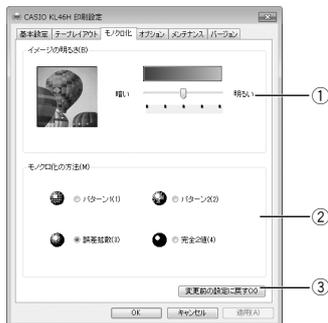
【使用テープ】に合わせて本体側にセットされているテープを入れるか、または本体にセットされているテープのサイズに合わせて【使用テープ】を指定してください。

指定した【使用テープ】と本体にセットされているテープのサイズが一致しないときは、印刷することができません (印刷時にエラーメッセージが表示されます)。

■モノクロ化

カラーの画像等をプリンターで印刷するときの、「イメージの明るさ」と「モノクロ化の方法」の設定をします。

(カラー画像はプリンターで印刷するときにはモノクロで印刷されます。)



①	イメージの明るさ(B)	画像等を印刷するときの明るさを調節します。
②	モノクロ化の方法(M)	<p>画像等を印刷するときの画質を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●パターン 1 (1) 一定のパターンに沿って印刷します。 ●パターン 2 (2) 一定のパターンに沿って [パターン 1] の場合より細かく印刷します。 ●誤差拡散 (3) [パターン] ほど目立たないランダムなパターンに沿って印刷します。 ●完全 2 値 (4) 完全な白黒で印刷します。
③	変更前の設定に戻す(X)	設定した内容を変更する前の状態に戻します。

- ・ [パターン]、[誤差拡散]、[完全 2 値] の違いについて
[パターン] と [誤差拡散] どちらのモノクロ設定も、カラー写真を白黒のコピーをしたときと同じように、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。ただし [パターン] に比べ [誤差拡散] のほうが、より美しい印刷結果となります。逆に [完全 2 値] は、特定の値を境に、濃い色はすべて黒に、薄い色はすべて白にして印刷するため、コントラストの強い仕上がりになります。

パターン 1



パターン 2



誤差拡散



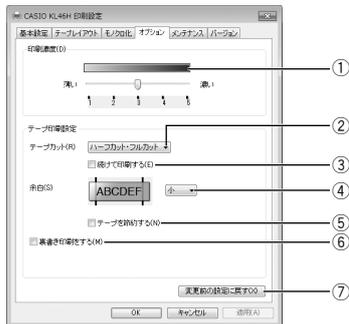
完全 2 値



重要 「明るさ」は画像等の階調を変えるものであり、実際の印刷濃度とは異なります。実際の印刷濃度の濃さを変える場合は、[オプション] タブの [印刷濃度 (D)] で調節してください。

■オプション

「印刷濃度」、「テープ印刷設定」の設定をします。

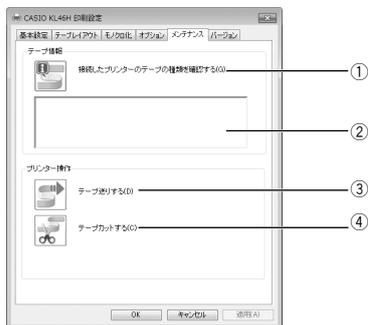


①	印刷濃度 (D)	印刷の濃さを調節します。印刷してもかすれたり濃く印刷されたりするときに調整してください。 [薄い]：薄く印刷する。 [濃い]：濃く印刷する。
②	テープカット (R)	テープカットの種類を指定します。 [カットしない]：オートカットされません。 [フルカットのみ]：1枚印刷するごとにフルカットされます。 [ハーフカット・フルカット]：1枚印刷するごとにハーフカットされ、全指定枚数の印刷終了後にフルカットされます。
③	続けて印刷する (E)	チェックを入れると、印刷の最後にフルカットされません。引き続き別の印刷を行う場合に、次の先頭のテープを節約することができます。チェックを入れて印刷後、引き続き印刷しない場合はプリンターのカットキーを押してテープを切り離してください。

④	余白 (S)	テープの前後に付くスペースの長さを指定します。 [小]：約 3mm ずつ余白が付きます。 [中]：約 10mm ずつ余白が付きます。 [大]：約 21mm ずつ余白が付きます。
⑤	テープを節約する (N)	印刷テープの空白の部分をカットして印刷しません。 チェックボックスのチェックをはずすと、[テープ選択] で指定された長さに関わらず、末尾の文字の入力されていない部分 (空白部分) を無視して短く印刷されます。 ・チェックを付けたとき <div data-bbox="1086 396 1246 456" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ABCDE</div> ・チェックをはずしたとき <div data-bbox="1086 512 1246 573" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ABCDE</div>
⑥	裏書き印刷をする (M)	テープの裏から見ると、通常の印刷結果になるように反転して印刷します。 ・布転写テープ (別売) を使用する場合に設定します。 アイロン布テープ (別売) を使用する場合には設定する必要はありません。 ・透明テープ (別売) を使用してガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。
⑦	変更前の設定に戻す (X)	設定した内容を変更する前の状態に戻します。

■メンテナンス

接続したプリンターに装着されたテープの情報を確認したり、テープ送りやカットなどを操作できます。



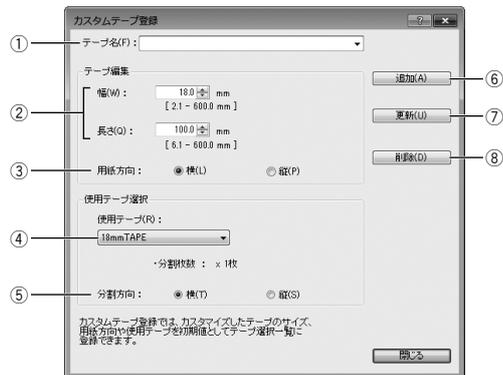
①	接続したプリンターのテープの種類を確認する (G)	左のボタンをクリックして、接続されているプリンターに装着されたテープカートリッジの状況を確認します。
②	テープ情報表示部	①で取得した以下の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">・テープカートリッジの有無・テープ幅
③	テープ送りする (D)	左のボタンをクリックすると、接続されているプリンターのテープが送り出されます。
④	テープカットする (C)	左のボタンをクリックすると、接続されているプリンターのテープがカットされます。

■カスタムテープ登録

新しいサイズのテープを作成して、「基本設定」画面の[テープ選択 (T)] リストに追加する設定をします。

ここで作成したテープ（レイアウト）を削除したり、定義した内容を更新したりできます。

この画面を表示するには、「基本設定」画面の[テープ選択 (T)] の[カスタムテープ (F)...] をクリックします。



⑥	追加 (A)	ここで作成したテープサイズを登録し、[テープ選択] リストに追加します。
⑦	更新 (U)	現在選んでいるテープ名の定義内容を更新します。
⑧	削除 (D)	現在選んでいるテープ名を削除します。

①	テープ名 (F)	作成するテープサイズの名前を入力します。ここで入力された名前は「基本設定」画面のテープ選択リストに表示されます。作成したテープを選択するときは、▼をクリックします。
②	幅 (W)、長さ (Q)	作成するテープの幅と長さを指定します。
③	用紙方向 横 (L)、縦 (P)	作成するテープの方向を選択します。「基本設定」画面の[用紙方向] にあたります。
④	使用テープ (R)	印刷する用紙（テープ）のサイズを選択します。
⑤	分割方向 横 (T) 縦 (S)	分割される方向を選択します。「テープレイアウト」画面の[分割方向] にあたります。

プリンターの削除方法

- 1 Windowsの「スタート」メニューから、[デバイスとプリンター] をクリックします。
「デバイスとプリンター」画面が表示されます。
- 2 削除したいプリンター名またはプリンターアイコンをクリックして選択します。
- 3 プリンターが選択された状態で、右クリックして表示されるメニューリストから「デバイスの削除 (V)」をクリックします。
プリンターのインストール状況により、メニューリストに「印刷キューの削除 (L)」が表示されることがあります。「印刷キューの削除 (L)」をクリックすることで、個別に削除するプリンター名を選択することができます。
- 4 [はい (Y)] をクリックします。

プリンター名の変更方法

プリンターを複数台接続して使用する場合には、プリンターにセットされているテープカートリッジをプリンター名にすると、識別しやすくなり便利です。ここでは、プリンター名の変更手順を説明します。

- 1 Windowsの「スタート」メニューから、[デバイスとプリンター] をクリックします。
「デバイスとプリンター」画面が表示されます。
- 2 プリンター名を変更したいプリンターをクリックして選択します。次に右クリックして表示されるメニューリストから「プリンターのプロパティ (P)」をクリックします。
ここでは、例として18mm白テープがセットされているプリンターを選びます。
プリンター名が複数表示された場合には、変更したいプリンター名をクリックします。
- 3 名前を変更します。
ここでは、例として「18mm Wh」と変更します。
- 4 [OK] をクリックします。

アプリケーションからテープに印刷する

Microsoft Word からの印刷

Microsoft Word 2010 から印刷する例で説明します。印刷には、サンプルとしてダウンロードしたフォーマットを使用してテープを作る方法と、新規に文書を作成してテープを作る方法があります。

重要 実際にはラベル印刷をするためには、指定した幅のテープカートリッジがプリンターにセットされている必要があります。

■ サンプルフォーマットを使用して印刷する

1 「ファイル」タブで「開く」をクリックし、ダウンロードした「Samples」フォルダの中にある「18mm ファイル背.docx」を開きます。

あらかじめ作成された、縦書きラベル印刷用文書が開きます。



2 「ファイル」タブで「印刷」をクリックし、[プリンター] から「CASIO KL46H」を選択します。



3 [プリンターのプロパティ] をクリックします。

4 ページ設定に合わせて、プリンターのプロパティの「基本設定」タブ、「オプション」タブを設定します。

● プロパティの設定例

「基本設定」タブ

幅：18.0mm

長さ：100.0mm

印刷方向：縦

「オプション」タブ

テープカット：ハーフカット・フルカット

余白：小

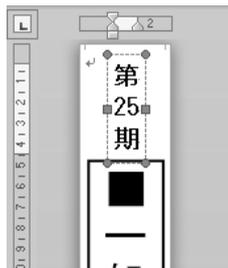


・テープの種類や印刷の方向によって余白の大きさが変わります。
詳しくは 18 ページの「余白の設定について」をご参照ください。

5 設定が終わったら、[OK] をクリックして印刷画面に戻り、「ホーム」タブをクリックします。

6 例として、「24」と表示されている部分をクリックし、テキストボックスを編集状態にします。

7 「24」を削除して「25」と入力し、位置と文字サイズを修正します。



8 「ファイル」タブで「印刷」をクリックします。

9 プレビュー画面でレイアウトを確認後、[印刷] をクリックします。

■新規に作成して印刷する

1 「ファイル」タブで「新規作成」をクリックし、テンプレートを選択して【作成】をクリックします。

2 「ファイル」タブで「印刷」をクリックし、[プリンター] から「CASIO KL46H」を選択します。

3 [プリンターのプロパティ] をクリックします。

4 「基本設定」タブをクリックし、使用するテープを設定します。

5 [OK] をクリックして、印刷画面に戻ります。

6 「ファイル」タブで「印刷」をクリックし、[ページ設定] をクリックします。
4 で設定した内容でページの設定をします。

7 「用紙」タブをクリックして、「用紙サイズ (R)」から使用するテープを指定します。

8 「余白」タブをクリックします。

9 余白の値を設定します。
18mmTAPE を余白小で使用するときには次のように設定します。

- 横書き
上 (T) : 1mm 下 (B) : 1mm
左 (L) : 3mm 右 (R) : 3mm
- 縦書き
上 (T) : 3mm 下 (B) : 3mm
左 (L) : 1mm 右 (R) : 1mm



- テープの種類や印刷の方向によって余白の大きさが変わります。
詳しくは 18 ページの「余白の設定について」をご参照ください。

10 設定が終わったら、[OK] をクリックして印刷画面に戻り、「ホーム」タブをクリックします。

11 印刷する文字を入力します。

12 「ファイル」タブで「印刷」をクリックします。

13 [印刷] をクリックします。

ヘッダー・フッター設定

Microsoft Word から印刷する場合は、ヘッダー・フッターの設定ができます。テープ印刷の場合は通常の用紙に比べて印刷領域が制限されますので、ヘッダー・フッター設定をはずして印刷してください。詳しくは、Microsoft Word のヘルプなどをご覧ください。

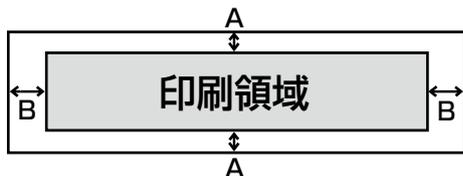
余白の設定について

プリンターのプロパティで設定したテープの幅と長さは、そのまま、アプリケーションで設定する用紙サイズの縦と横のサイズになります。

余白の設定は、プリンタードライバーの印刷設定では「小」、「中」、「大」と設定しますが、アプリケーションでは数値を入力して設定をします。

また、使用するテープの幅により、設定する余白の数値が異なります。

・表 1・表 2 を参考に余白を設定してください。



テープ幅(3.5/6/9/12/18/24/36/46mm)と A の値(表 1)

テープ幅	A (mm)
3.5mm	0.75
6mm	1.00
9mm	1.00
12mm	1.00
18mm	1.00
24mm	1.00
36mm	2.00
46mm	1.50

テープの余白設定と B の値 (表 2)

余白設定	B (mm)
小	3
中	10
大	21

● Microsoft Word での余白設定の例

「18mmTAPES / 余白小 / 印刷の向き：横」にプリンターのプロパティで設定された場合、次のようになります。

余白上下は表 1 より、1mm

余白左右は表 2 より、3mm

Microsoft Excel からの印刷

ここでは、Microsoft Excel 2010 から印刷する例で説明します。印刷には、サンプルとしてダウンロードしたフォーマットを使用してテーブルを作る方法と、新規にブックを作成してテーブルを作る方法があります。

重要  実際にテーブル印刷をするためには、指定した幅のテーブルカートリッジがプリンターにセットされている必要があります。

■ サンプルフォーマットを使用して印刷する

1 「ファイル」タブで「開く」をクリックし、ダウンロードした「Samples」フォルダの中にある「18mm 名札.xlsx」を開きます。

あらかじめ作成された、ラベル印刷用文書が開きます。

	A	B	C
1	No.1001	青木	大翔
2	No.1002	井原	陽菜
3	No.1003	上野	蓮

・あらかじめ入力されている内容は架空のもので、実在する人物、団体等とは関係ありません。

2 「ファイル」タブで「印刷」をクリックし、[プリンター] から「CASIO KL46H」を選択します。



3 「プリンターのプロパティ」をクリックします。

4 ページ設定に合わせて、プリンターのプロパティの「基本設定」タブ、「オプション」タブを設定します。

● プロパティの設定例

「基本設定」タブ

テープ選択：18mmTAPE

幅：18.0mm

長さ：100.0mm

印刷方向：横

「オプション」タブ

テープカット：ハーフカット・フルカット

余白：小



・テープの種類や印刷の方向によって余白の大きさが変わります。詳しくは 18 ページの「余白の設定について」をご参照ください。

5 設定が終わったら、[OK] をクリックして印刷画面に戻り、「ホーム」タブをクリックします。
必要に応じてテープ内容を編集します。

6 印刷するセルを選択し、「ページレイアウト」タブで【印刷範囲】をクリックして表示されるメニューから、「印刷範囲の設定」をクリックします。
ここでは、A1 セルから C1 セルまで選択します。

7 「ファイル」タブで「印刷」をクリックします。

8 プレビュー画面でレイアウトを確認後、【印刷】をクリックします。

■新規に作成して印刷する

1 「ファイル」タブで「新規作成」をクリックし、テンプレートを選択して【作成】をクリックします。

2 「ファイル」タブで「印刷」をクリックし、【プリンター】から「CASIO KL46H」を選択します。

3 【プリンターのプロパティ】をクリックします。

4 「基本設定」タブおよび「オプション」タブをクリックし、使用するテープを設定して [OK] をクリックします。

●プロパティの設定例

「基本設定」タブ

テープ選択：18mmTAPE

用紙方向：横

「オプション」タブ

余白：小

テープカット：ハーフカット・フルカット

5 設定が終わったら、[OK] をクリックして印刷画面に戻ります。

6 印刷画面で、余白のプルダウン（初期設定「標準の余白」）から「ユーザー設定の余白 (A)」をクリックします。

7 【余白】タブをクリックし、余白の値を設定します。

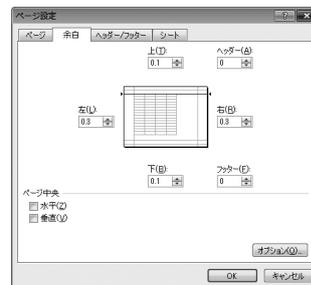
●余白の設定例

上 (T) : 0.1 下 (B) : 0.1

左 (L) : 0.3 右 (R) : 0.3

ヘッダー (A) : 0

フッター (F) : 0



- ・テープの種類や印刷の方向によって余白の大きさが変わります。詳しくは 18 ページの「余白の設定について」をご参照ください。
- ・「ページレイアウト」タブ内の「ページ設定」グループでも余白や印刷の向きを設定できます。

8 設定が終わったら、[OK] をクリックして印刷画面に戻り、「ホーム」タブをクリックします。

9 印刷するデータを入力します。

10 「ファイル」タブで「印刷」をクリックします。

11 [印刷] をクリックします。

ヘッダー・フッター設定

Microsoft Excel から印刷をする場合に、ヘッダー・フッターを設定できます。テープ印刷の場合は通常の用紙に比べて印刷領域が制限されますので、ヘッダー・フッター設定をはずして印刷してください。詳しくは、Microsoft Excel のヘルプなどをご覧ください。

Microsoft PowerPoint からの印刷

Microsoft PowerPoint 用にもダウンロードして使用できるサンプルフォーマットを用意しています。Microsoft PowerPoint 2010 でサンプルを使用した印刷手順を説明します。

重要  実際にテープ印刷をするためには、指定した幅のテープカートリッジがプリンターにセットされている必要があります。

1 「ファイル」タブで「開く」をクリックし、ダウンロードした「Samples」フォルダの中にある pptx ファイルを開きます。

2 「ファイル」タブで「印刷」をクリックし、[プリンター] から「CASIO KL46H」を選択します。

3 [設定] のスライドを選択するプルダウン（初期設定「フルページサイズのスライド」）から「用紙に合わせて拡大 / 縮小 (S)」をクリックします。

「用紙に合わせて拡大 / 縮小 (S)」の左側にチェックマークがついている状態にしてください。

サンプルファイルは、実際に印刷するテープより大きいサイズで設定されています。印刷の際にはテープに合わせて縮小する必要があるため、このオプションを使用します。

4 「ホーム」タブをクリックし、スライドのテキストを編集します。

スライドの幅を調整したい場合は、「デザイン」タブの [ページ設定] をクリックし、「幅 (W)」の値を変更します。

- ・ サンプルファイルで設定されているサイズを確認するには、22 ページの表を参照してください。『PowerPoint の「ページ設定」』の列が、サンプルファイルごとに設定されている幅と高さの値です。

5 編集が終わったら「ファイル」タブで「印刷」をクリックし、プレビュー画面でレイアウトを確認します。

必要に応じて「プリンターのプロパティ」をクリックして、印刷するテープの長さなどを調整します。

- 以下の表を参考にしてください。

6 「印刷」をクリックします。

PowerPoint 用サンプルフォーマットの設定値

サンプルフォーマットの ファイル名	できあがりの テープサイズ		印字される 領域のサイズ		倍率	PowerPoint の 「ページ設定」	
	テープ幅	テープ長	印字幅	印字長		幅 (W)	高さ (E)
3_5mm 幅_長さ 100mm_x14.pptx	3.5mm	100mm	2mm	94mm	14 倍	2.8cm	131.6cm
6mm 幅_長さ 100mm_x7.pptx	6mm	100mm	4mm	94mm	7 倍	2.8cm	65.8cm
9mm 幅_長さ 100mm_x4.pptx	9mm	100mm	7mm	94mm	4 倍	2.8cm	37.6cm
12mm 幅_長さ 100mm_x3.pptx	12mm	100mm	10mm	94mm	3 倍	3.0cm	28.2cm
18mm 幅_長さ 100mm_x2.pptx	18mm	100mm	16mm	94mm	2 倍	3.2cm	18.8cm
24mm 幅_長さ 100mm_x2.pptx	24mm	100mm	22mm	94mm	2 倍	4.4cm	18.8cm
36mm 幅_長さ 100mm_x1.pptx	36mm	100mm	32mm	94mm	1 倍	3.2cm	9.4cm
46mm 幅_長さ 100mm_x1.pptx	46mm	100mm	43mm	94mm	1 倍	4.3cm	9.4cm
18mm われもの注意.pptx	18mm	100mm	16mm	94mm	2 倍	3.2cm	18.8cm
46mm 取扱注意.pptx	46mm	100mm	43mm	94mm	1 倍	4.3cm	9.4cm

ペイントからの印刷

ペイントからの印刷では、サンプルとしてダウンロードしたフォーマットを使用してテープを作る方法と、新規に画像データを作成してテープを作る方法があります。

重要 実際にはテープ印刷をするためには、指定した幅のテープカートリッジがプリンターにセットされている必要があります。

■サンプルフォーマットを使用して印刷する

- 1 「ペイント」から「開く (O)」をクリックし、ダウンロードした「Samples」フォルダの中にある「18mmTOILET.bmp」を開きます。
ビットマップファイルが開きます。



- 2 「ペイント」ボタンをクリックし「印刷 (P)」項目内の「印刷 (P)」をクリックします。
- 3 印刷ダイアログで「プリンターの選択」から CASIO KL46H を選択し、[適用] をクリックします。



- 4 「詳細設定 (R)」をクリックし、印刷設定の「基本設定」タブ、「オプション」タブを設定します。

●印刷設定の設定例

「基本設定」タブ

テープ選択：18mmTAPE

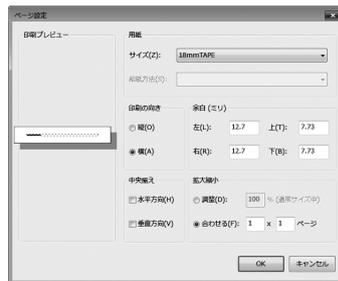
用紙方向：横

「オプション」タブ

テープカット：ハーフカット・フルカット

余白：小

- 5 設定が終わったら [OK] をクリックし、プリンターを選択するダイアログに戻り [適用] をクリック後、[キャンセル] をクリックします。
- 6 「ペイント」ボタンをクリックし「印刷 (P)」項目内の「ページ設定 (S)」をクリックします。



- 7 「ページ設定」ダイアログで、余白の値を設定します。

●余白の設定例

左 (L)：3ミリ 上 (T)：1ミリ

右 (R)：3ミリ 下 (B)：1ミリ

- ・テープの種類や印刷の方向によって余白の大きさが変わります。詳しくは 18 ページの「余白の設定について」をご参照ください。

- 8 設定が終わったら [OK] をクリックします。
- 9 ペイントの編集画面で編集します。
- 10 編集が終わったら「ペイント」ボタンをクリックし「印刷 (P)」項目内の「印刷 (P)」をクリックします。
- 11 「印刷 (P)」をクリックします。

■新規に作成して印刷する

ここでは、プリンター「KL-E550」を使用して、18mmTAPEで横方向の長さ100mm、「余白：中」のラベルを作成するときの操作例を説明します。

- 1 「ペイント」ボタンをクリックしてから「新規 (N)」をクリックします。
- 2 「ペイント」ボタンをクリックし「印刷 (P)」項目内の「印刷 (P)」をクリックします。
- 3 「プリンター選択」からCASIO KL46Hを選択します。
- 4 「詳細設定 (R)」をクリックします。
- 5 「基本設定」タブをクリックし、使用するテープを設定します。
 - 印刷設定の設定例
 - 「基本設定」タブ
 - テープ選択：18mmTAPE
 - 用紙方向：横
 - 「オプション」タブ
 - 余白：中
 - テープカット：ハーフカット・フルカット

- 6 設定が終わったら [OK] をクリックし、プリンターを選択するダイアログに戻り、[適用] をクリック後、[キャンセル] をクリックします。

- 7 「ペイント」ボタンをクリックし「印刷 (P)」項目内の「ページ設定 (S)」をクリックします。ページ設定ダイアログで余白の値を設定します。

●余白の設定例

左 (L)：10 ミリ 上 (T)：1 ミリ
右 (R)：10 ミリ 下 (B)：1 ミリ

- ・テープの種類や印刷の方向によって余白の大きさが変わります。詳しくは 18 ページの「余白の設定について」をご参照ください。

- 8 設定が終わったら [OK] をクリックします。

- 9 「ホーム」タブで、「イメージ」グループ内の「サイズ変更」をクリックし、値を設定します。

●設定例

縦横比を維持する (M)：オフ
単位 (B)：ピクセル
水平方向 (H)：400
垂直方向 (V)：128

- 10 設定が終わったら [OK] をクリックします。

- 11 ペイントの編集画面でデータを入力します。

- 12 データの入力が終わったら、「ペイント」ボタンをクリックし「印刷 (P)」項目内の「印刷 (P)」をクリックします。

- 13 「印刷 (P)」をクリックします。

エラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	対処方法
指定のプリンターが接続されていることを確認してください。	プリンターとパソコンが接続されていることを確認してください。または、プリンターの電源が入っていることを確認して、もう一度印刷を実行してください。
プリンターエラーです。一度電源を入れなおしてください。	プリンターの状態が異常です。一旦電源を入れ直してください。その後、印刷をやり直してください。 USB ドライバーが正常にインストールされているかどうかを確認してください。
印刷中止が指定されました	印刷がキャンセルされました。
確認して下さい	プリンターのヘッド温度が高すぎます。しばらくしてから印刷を再開してください。 プリンターに装着されているテープの幅・種類が合っているか確認してください。 プリンター内にテープが詰まっていないか、テープ幅・種類が合っているか、テープが終了していないか確認してください。 指定のプリンターが接続されていません。プリンターを確認して、もう一度印刷を実行してください。 ●ドライバーのポート指定が CPKL-USB PORT の場合： その機種がどのポートにも接続されていません。 プリンターを USB ポートに接続してください。
テープカートリッジを装着してください。	テープカートリッジのテープがありません。新しいテープカートリッジを装着してください。
テープカートリッジを確認してください。	テープカートリッジの種類が正しくありません。正しいテープカートリッジを装着してください。
プリンターにテープが詰まっていないか確認してください。	プリンターにテープが詰まっていないか確認してください。
カバーを開めてください。	プリンターのカバーを開めてください。

エラーメッセージ	対処方法
確認して下さい	●ドライバーのポート指定が CPKL-USB PORT#1_2 などの指定の場合： その機種が指定のポートに接続されていません。 他のポートに接続されていても指定のポートに接続されていなければ、このエラーが出ます。指定のポートにプリンターを接続してください。ポート指定の確認はプリンタープロパティのポートタブで確認できます。 接続されているプリンターが指定のものとは違います。プリンターを確認して、もう一度印刷を実行してください。 ●ドライバーのポート指定が CPKL-USB PORT の場合： このエラーは出ません。 ●ドライバーのポート指定が CPKL-USB PORT#1_2 などの指定の場合： 指定のポートに接続されている機種が違います。指定の機種種のプリンターを接続し直してください。
プリンターが接続されているパソコンからの応答がありません。プリンターが接続されているパソコンで印刷状況を確認してください。	パソコンにつながれたプリンターがネットワーク上にある場合に表示されます。プリンターが接続されているパソコンで印刷状況を確認してください。

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2